

第22回田原市市民協働まちづくり会議

日時：平成28年10月27日（木）午後6時から
場所：田原市役所南庁舎6階 600会議室

1 あいさつ

2 議 事

（1）各主体の取り組み（委員連絡票） 【資料1】

（2）報告事項

①各種市民活動支援事業の状況について 【資料2-1】【資料2-2】

②平成29年度の市民協働事業について 【資料3-1】【資料3-2】

③市民活動支援センターの運営手法等について 【資料4】

2 その他

○意見交換等

配布資料

【名簿・配席表】 ※当日配付

【資料1】委員連絡票 ※当日配布

【資料2-1】各種市民活動支援状況について

【資料2-2】市民活動支援の展開イメージ

【資料3-1】平成29年度の市民協働事業について

【資料3-2】市民協働関連補助金採択団体の軌跡

【資料4】市民活動支援センターの運営手法等について

第22回田原市市民協働まちづくり会議委員名簿

任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日

【委員】

番号	職名	委員氏名	役職等	備考
1	会長	みつや かつし 三矢 勝司	名古屋工業大学コミュニティ創成教育研究センター 研究員 NPO法人岡崎まち育てセンター・りた事務局次長	5号委員 (学識経験者)
2	副会長	すずき しょうぞう 鈴木 正三	田原市地域コミュニティ連合会理事	2号委員 (市民活動団体)
3	委員	すぎがら みわこ 鋤柄 美和子	— (公募) —	1号委員 (公募市民)
4	委員	すずき としひろ 鈴木 俊博	田原青年会議所財務担当理事	2号委員 (市民活動団体)
5	委員	さかい おさむ 酒井 修	田原市ボランティア連絡協議会会長	2号委員 (市民活動団体)
6	委員	ほんだ ちえこ 本多 智映子	田原市文化協会副会長	2号委員 (市民活動団体)
7	委員	おおかわ たかよ 大河 孝代	田原市体育協会会計	2号委員 (市民活動団体)
8	委員	おざわ みほこ 小澤 美穂子	NPO法人たはら広場	2号委員 (市民活動団体)
9	委員	やすだ ゆきお 安田 幸雄	田原市商工会副会長	3号委員 (事業者の団体)
10	委員	たかせ よしひこ 高瀬 与志彦	J A愛知みなみ代表理事専務	3号委員 (事業者の団体)
11	委員	なかむら ただし 中村 匡	田原市企画部長	4号委員 (市の機関)

【事務局】

企画部 企画課	大羽 浩和 (課長) 彦坂 英美 (課長補佐兼係長) 内田 智希 (主事補)
総務部 総務課	増田 直道 (課長) 本多 美和 (係長) 鈴木 康平 (主事補)

第22回田原市市民協働まちづくり会議 配席表

平成28年10月27日(木) 午後6時から

田原市役所南庁舎 6階 600会議室

会長 三矢 勝司

(名古屋工業大学コミュニティ創成教育研究センター 研究員)

(NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた 事務局次長)

副会長 鈴木 正三

(田原市地域コミュニティ連合会)

委員 安田 幸雄
(田原市商工会)

委員 高瀬与志彦
(JA愛知みなみ代表理事専務)

委員 中村 匡
(田原市企画部長)

委員 鋤柄美和子
(公募委員)

委員 酒井 修
(田原市ボランティア連絡協議会)

委員 本多 智映子
(田原市文化協会)

委員 小澤美穂子
(NPO法人たはら広場)

事務局

課長補佐
彦坂英美

企画課長
大羽浩和

総務課長
増田直道

係長
本多美和

事務局

主事補
内田智希

主事補
鈴木康平

出入り口

各委員の取組状況・意見

2	田原市地域コミュニティ連合会理事 鈴木 正三 委員
	昨年度、清田校区で市民提案委託事業を企画して、市に採用して頂きました。以前は、地域の人々が行き来していた弁財ヶ浜の堤防が、いつの間にか崖から崩れた土砂やゴミ、草がはえて歩くことができない状態になりました。 企画した事業を行った結果、昔のように歩けるようになりました。田原市からは60万円の委託料を頂きましたが、作業には小学生から老人会の方々まで地元の多くの方々に参加してもらい地域の人々との間に作業をする中で、地域や人の和が育まれ、連帯感が生まれたような気がします。 毎月第3土曜日に「弁財ヶ浜の日」を設けて、清掃や草取りを行っていますが、整備した環境を、いつまでも守り続けたいと思い活動しています。

3	公募 鋤柄 美和子 委員
	事業を検討している団体に対して、市民協働まちづくり補助金のPRを行ったことで補助金の活用に結びつけることができました。 市民活動団体の実施するイベント「たはら街なか軽トラ市」の企画・運営に携わっています。 また、「里海ビーチクリーン」活動に参加をしたり、今後も、新たに「街なかの回遊マップを作ろう」という動きがあるので、それに参加予定です。

各委員の取組状況・意見

8	NPO法人たはら広場 小澤 美穂子 委員
『時代の変化がとても急激であり、社会の常識が大きくゆらいでいます。東三河ではごく当たり前の助成金制度が、変わっていく時期にさしかかっていると思います。加えて現状を維持する事が難しくなっているというこの時期を、チャンスに変えるための熟考期と考えるべきだと思います。 その心構えをもって、平成 29 年の運営体制を敷く必要があります。当然この“市民協働まちづくり会議”も必須だが、この会議の前段階を作ってはどうか。』と思います。	

市民活動支援制度の活用状況と今後の展開

平成 28 年度の各種市民活動支援制度活用状況

1 市民協働まちづくり事業補助金

市内の市民活動団体が行う公益的な事業（地域づくり、福祉、環境保全等）の事業費の一部を支援する制度。団体の自立を促し、目的実現を支援するため、補助は 3 年を限度としている。
（補助率 1 / 2、上限 20 万円）

【補助額 5 万円以上 20 万円以下（事業費 10 万円以上）の事業】

団体名・「事業名」	事業内容	補助額 (補助対象経費)	事業担当課
田原リレーマラソン実行委員会 「第 3 回田原リレーマラソン大会」	田原サンテパークに隣接する芦ヶ池の周りを利用し、折り返しコースにて 1 周 1.5 km、14 周 21.0975km（最終走者は 1.5975Km）を 5～7 人のチームでタスキをつないで走るハーフリレーマラソン大会を開催。	200,000 円 (600,000 円)	スポーツ課

◆ 2 次募集(平成 28 年 7 月 1 日から 8 月 8 日)を実施しましたが、応募団体はありませんでした。

【補助額 5 万円未満（事業費 10 万円未満）の事業】

団体名・「事業名」	事業内容	補助額 (補助対象経費)	事業担当課
NPO 木遊びまごまごネット 「子どもの健全育成を図る事業」	地域で遊ぶ子供達と一緒に、パパママ・ジジババが、自然の温もりいっぱいのおもちゃ並びに竹ドームの遊び場を通じ、世代間の交流を図るとともに、地域の助け合いや笑顔の輪を広げる活動を行う。	49,000 円 (99,000 円)	子育て支援課
特定非営利活動法人渥美半島ハイキングクラブ 「渥美半島 10 名山」制定による観光まちづくり・環境保全・健康増進事業	山の日が祝日に制定されたことを記念し、渥美半島内の 10 の山を「10 名山」として選定し、周知のためにチラシを作成して広報する。	30,000 円 (60,000 円)	商工観光課
たはら街なか軽トラ市実行委員会 「Happy Halloween ♪ 第 3 回たはら街なか軽トラ市」	三河田原駅前工場跡地を活用し、地域商業者と東三河全域から集まる商業者が共催で「たはら街なか軽トラ市」を開催し、中心市街地への集客を図り、賑わいを創出する。	49,000 円 (99,060 円)	商工観光課 街づくり推進課

◆ 予算の範囲内で平成 29 年 1 月 31 日（火）まで随時募集中

2 市民活動チャレンジ支援補助金

市民活動の担い手を増やし、地域活性化につなげることを目的として、青年層の市民による公益活動を支援する制度。若者が公益活動にチャレンジし、楽しみながらまちづくりに取り組めることを期待。 (補助率 1/2、上限 10 万円)

◎申請団体なし（10月20日現在）

- ◆おおむね 18～40 歳の市民 5 人以上で構成される団体
- ◆予算の範囲内で平成 29 年 1 月 31 日（火）まで随時募集中

3 新規団体活動補助金

新しく設立された団体の活動経費の一部を支援するもので、市民活動団体の新しい担い手づくりを目的とする。 (補助率 10/10、上限 3 万円)

団体名・「事業名」	事業内容	補助額 (補助対象経費)	事業担当課
藤七原の宝守り育てる会 「地域の大切な資源を守る」交流会	高齢化の進展により、農業の担い手が減少し、藤七原地域の田園風景、自然が失われつつある。農業を続け、資源（農地、里山、水、虫）や環境を守る仕組みづくりを考える。	50,000 円 (55,000 円)	農政課
スマイルの会	自治会活動に参画する機会が少ない女性の目線を加味した避難所運営を考え、HUG の体験や市民館まつりで防災の啓発活動を実施する。	50,000 円 (50,000 円)	防災対策課 総務課

- ◆予算の範囲内で平成 29 年 1 月 31 日（火）まで随時募集中

4 人材養成活動補助金

団体の活動に関する専門知識を習得する講座・研修等で、公益活動の推進に有効なものへの参加費や旅費を支援する制度。

団体名	事業内容 【講座等開催場所】	補助額 (補助対象経費)	事業担当課
田原市聴覚障害者協会	愛知県手話奉仕員担当講師連続講座 【あいち聴覚障害者センター（名古屋市）】	30,000 円 (59,460 円)	地域福祉課
手話サークル とまと	愛知県手話奉仕員担当講師連続講座 【あいち聴覚障害者センター（名古屋市）】	30,000 円 (59,460 円)	地域福祉課
人づくりネットワーク メリーゴーランド	休むのは子ども権利～「不登校法案」を考える 【とよた市民活動センター（豊田市）】	3,620 円 (3,620 円)	生涯学習課
特定非営利活動法人 渥美半島ハイキングクラブ	愛知 岐阜 三重環境活動情報交流会 2016 【ラーニングアーバー横蔵・樹庵（岐阜県揖斐郡）】	30,000 円 (59,460 円)	環境政策課

- ◆予算の範囲内で平成 29 年 1 月 31 日（火）まで随時募集中

5 市民提案型委託制度

市民活動団体からの提案による事業の委託制度。市から目的を決めて募集する「テーマ提示型」と、団体が分野や取り組みを自ら考えて提案する「自由テーマ型」がある。

【テーマ提示型】

(1) 募集テーマ

- ① 市民のひろば（市民活動団体交流会）開催事業（委託費上限：200,000 円）
- ② 男女共同参画啓発事業（委託費上限：200,000 円）

(2) 募集期間 平成28年5月2日（月）～5月31日（火）

(3) 審査会 平成28年6月6日（月）

【①市民のひろば（市民活動団体交流会）開催事業】

受託団体	あつみNPOネットワーク
提案事業	「平成28年度しみのひろば～出会って、つながって、ネットワークで『まちつむぎ』with あつみNPOの集い～」開催事業 多くの NPO やボランティア組織の“交流の場”となる「しみのひろば」イベントを開催。 <日時> 平成29年2月5日（日） 午前10時から午後4時 <会場> 田原市渥美文化会館多目的ホール 他 <イベントの内容> ・ステージでの各団体の活動発表（午前） ・基調講演（午後） テーマ「心が伝わる話し方」 講師：平野裕加里さん ・ロビー等でのパネル展示、ブース展示（終日） ・交流会（基調講演終了後） ※広報10月号（田原市ホームページ）でイベント内容の告知、参加団体の募集を実施。個別、文書案内も実施。

【②男女共同参画啓発事業】

提案団体	女性会議W I T
提案事業	「男女共同参画啓発事業～『気づき』『学び』『行動』のウィットセミナー2016」 男女共同参画講座及び映画会と監督トーク ○講座（終了） 日時：平成28年7月23日（土） 午後2時～4時 講師：村瀬幸治 テーマ：素敵にパートナーシップ～お互いの生と性、理解してますか？～ ○映画会 日時：平成28年12月25日（日）午後1時～3時30分 内容：「厨房男子」&監督 高野史枝さんのトーク

【自由テーマ型】

(1) 募集期間 平成28年7月15日（金）～8月31日（水）

(2) 周知方法 平成28年7月号広報及び田原市ホームページ

◎応募団体なし

市民活動支援の展開イメージ

新しい担い手

誕生した市民活動団体
関心はあるが市民活動未経験の市民

【企画課】

新規団体活動補助金

- 活動のスタートアップを支援
- 新たな担い手の誕生を促す。

【企画課】

市民活動チャレンジ支援補助金 (平成 26 年度創設)

- 青年層への支援をし、市民活動の担い手を増やす。
- 若者が、楽しくチャレンジのできるように支援。

【企画課】

市民協働まちづくり事業補助金

- 市民活動団体の活動資金を補助
- 3年間限度の支援で自立を促す。

【企画課・各課室】

市民提案型委託制度

- 団体による自由な事業提案
- 団体が主体となって事業実施

常設型補助制度

【企画課】

市民活動向上事業補助金

- 団体間の連携強化
- 中間支援組織の育成

【各課室】

- 必要性の検討
- 制度化

継続的な支援

【企画課】

市民活動 支援センター

- 活動相談
- 広報のお手伝い
- 法人設立手続き相談
- フリースペース、印刷機利用

【各課室】

その他の支援

- 活動相談
- 活動場所提供
- 機材、用具の貸し出し
(清掃活動用具等)
- アダプトプログラム
- ボランティア助成金
(社会福祉協議会)
-
-
-

【企画課】

人材養成活動補助金

- 団体構成員のスキルアップを支援

協働の担い手
市民活動団体の活発化

平成 29 年度市民協働事業について

1 市民協働まちづくり事業補助金

○平成 29 年度 制度骨子（案）

制度内容	○現行制度を維持する 【共通事項】 ・補助額＝対象事業費×1／2 ・補助限度額 20 万円 【通常枠】 事業費 10 万円以上 ・書類審査及び審査会（関連部署が審査員） ・期間を区切って募集 ・予算の残額の状況により二次募集を実施 【少額枠】 事業費 10 万円未満 ・書類審査（関連部署の意見聴取含む） ・随時募集
予算要求額	○過去 3 ヶ年の応募状況を基に予算要求額を算定 【通常枠】 20 万円×3 団体＝60 万円 【少額枠】 5 万円×3 団体＝15 万円 （H28 年度は通常枠 20 万円×5 団体＝100 万円 少額枠 5 万円×6 団体＝30 万円）
検討課題	○制度の効果的な周知 ○審査会の内容、審査項目・評点の見直し ○補助採択による団体の成長、意識変化の調査 ○各分野（市各課）における支援のあり方

2 市民活動チャレンジ支援補助金／平成 26 年度新設

○平成 29 年度 制度骨子（案）

制度内容	○現行制度を維持する 【共通事項】 ・補助額＝対象事業費×1／2 ・補助限度額 10 万円
予算要求額	○過去 3 ヶ年の応募状況を基に予算要求額を算定 10 万円×2 団体＝20 万円 （H28 年度は 5 団体の 50 万円予算）
検討課題	○制度の効果的な周知 ○若年層団体の発掘、誘導

3 新規団体活動補助金

○平成29年度 制度骨子（案）

制度内容	【共通事項】 ・ 設立2年未満の団体が対象 ・ 補助限度額5万円（H27年度に3万円⇒5万円に増額） ○ 現行制度を維持する
予算要求額	○ 過去3ヵ年の応募状況を基に予算要求額を算定 5万円×2団体＝10万円 （H28年度は5万円×3団体の15万円予算）
検討課題	○ 新規設立団体の不足 ○ 新規設立団体が、まちづくり補助金活用団体につながらない。

4 人材養成活動補助金

○平成29年度 制度骨子（案）

制度内容	○ 現行制度を維持する 【共通事項】 ・ 補助限度額3万円
予算要求額	○ 過去3ヵ年の応募状況を基に予算要求額を算定 3万円×4団体＝12万円 （H28年度は5団体の15万円予算）
検討課題	○ 制度の効果的な周知 ○ 応募団体の固定化

5 市民提案型委託制度

○市民活動交流会「しみのひろば」開催事業（平成29年度 制度骨子（案））

事業自体のあり方を検討していく一つの手法として、「第10回男女共同参画フェスティバル」との併催として募集を行う。市民活動の裾野が広がるように、市民活動団体の交流の場づくり・活動発表の場として、集客も含め、効果的なイベント開催となるよう検討していきたい。

○男女共同参画啓発事業

○その他事業

⇒ 庁内各課へ制度の活用について推進。

平成29年度 支援制度展開の留意事項

- ◆ 補助採択のメリットを示して公募することで、応募団体の増加に繋げる。
- ◆ 地域コミュニティとの連携促進のきっかけづくりを意識して進める。
- ◆ 採択団体に公的支援を受けていることへの自覚を促し、次の展開につなげる。

検討課題

- ◆ 各分野（市の各部課）における、協働施策が促進されるような仕組みづくり（施策の受け皿となる団体や人材の育成等）。
- ◆ 支援制度のPRの充実、利用しやすい環境づくり。

市民協働関連補助金採択団体の軌跡

補助金	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
新規団体活動補助金		◆東友クラブ趣味の会	◆衣笠里山に親しむ会	◆みどりの会	◆はっぴい mini ちゃんねる		◆田原アレルギーっ子の会 ◆整理収納東三河ネットワーク	◆藤七原の宝守り育てる会 ◆スマイルの会
市民活動チャレンジ支援補助金（H26 年度～）						◆田原リレーマラソン実行委員会 ◆渥美青年経済研究会	◆アオイトリ ◆NPOキラキラこども農園ネット	
市民協働まちづくり事業補助金	◆NPO法人ゆずりは学園 ◆たらめ会 ◆福江クリーンアップクラブ ◆NPOエコウインドネット ◆女性会議WITウィット ◆「アートコラボ・芸術は君のもの！」実行委員会 ◆NPO法人渥美半島ハイキングクラブ	◆地域自給プロジェクト ◆環境ボランティアサークル亀の子隊 ◆NPO法人渥美虹の会 ◆「共生のまち」田原市を考える会 ◆NPO法人うたた	◆東友クラブ趣味の会 ◆里山保全 山遊里（やまゆり） ◆あつみNPOネットワーク ◆NPO法人たはら広場 ◆たっぷくヘルパーボランティア	◆図書館フレンズ田原 ◆Happy Dub	◆NPOエコウインドネット（H21 年度採択・2 回目） ◆清田・福江校区クリーンアップ隊（H21 年度採択の福江クリーンアップクラブと同一団体・2 回目） ◆みどりの会（採択後、団体から取り下げ、社協補助金を利用） ◆まつぼっくりの会	◆清田・福江校区クリーンアップ隊（H21. 25 年度採択の福江クリーンアップクラブと同一団体・3 回目） ◆渥美半島の里海を美しくする会 ◆女性会議WIT ウィット（H21 年度採択・2 回目） ◆アースデイたはら	◆NPO法人たはら広場（H22. 23 年度採択・3 回目） ◆田原リレーマラソン実行委員会 ◆NPO木遊びまごまごネット	◆NPO法人渥美半島ハイキングクラブ（H21. 22 年度採択・3 回目） ◆たはら街なか軽トラ市実行委員会
市民活動向上事業補助金				◆あつみNPOネットワーク				
人材養成活動補助金		◆NPO法人 渥美半島ハイキングクラブ ◆女性会議WITウィット ◆NPO法人うたた ◆NPO法人ピースハウス ◆田原市健康づくりリーダー連絡協議会	◆NPO法人渥美半島ハイキングクラブ ◆女性会議WITウィット ◆NPO法人うたた ◆東友クラブ趣味の会 ◆環境ボランティアサークル亀の子隊 ◆田原市健康づくりリーダー連絡協議会 ◆田原市ビーチバレー協会	◆OHPたはら ◆人づくりネットワーク メリーゴーランド	◆NPO法人渥美半島ハイキングクラブ ◆女性会議WITウィット ◆人づくりネットワーク メリーゴーランド ◆あつみNPOネットワーク ◆地域みらいの会	◆NPO法人渥美半島ハイキングクラブ	◆NPO法人たはら広場 ◆女性会議WITウィット ◆あつみNPOネットワーク ◆まなびの会 ◆NPO法人渥美半島ハイキングクラブ	◆田原市聴覚障害者協会 ◆手話サークル とまと ◆人づくりネットワーク メリーゴーランド ◆NPO法人渥美半島ハイキングクラブ

◆田原市民活動支援センターの運営状況

1 設置目的

市民活動の活性化を図るため、平成19年度に設置

- 市民活動団体に対する情報の提供
- 市民、団体間の交流促進
- その他支援による市民活動の推進

2 設置場所及び設備

- 場所 田原文化会館フリースペース内 約 15 m²
- 設備 カウンターテーブル、掲示板、閲覧用パソコン、電話(内線)、メールアドレス、印刷機 等

3 運営体制

- 市直営:企画課 協働係職員 1名 (H28.4～)

【運営体制の経緯】

	運営方式	日時等
H19～21	《業務委託》 特定非営利活動法人たはら広場	金・土・日曜日／午後2時～7時
H22	《市直営》 市民活動推進スタッフ(嘱託員)、市民協働課職員	金・土・日曜日／午後2時～7時
H23	《市直営》 市民活動推進スタッフ(嘱託員)、市民協働課職員	火・金・土曜日／午後2時～7時
H27	《市直営》 市民活動推進スタッフ(嘱託員)、市民協働課職員	火・金／午後1時～6時 土曜日・祝日／正午～5時
H28	《市直営》 企画課協働係職員	火・金／午後1時～6時 土曜日・祝日／正午～5時

4 運営内容

- 市民活動相談、情報紙発行、広報記事作成、ホームページ運営、交流会・しみんのひろば支援、東三河市民活動推進協議会への協力、印刷機利用受付 等

5 相談件数推移

	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
総件数	50	113	108	115	114	108	87	102	155

6 主な相談内容

- 活動相談 →NPO設立・手続き関係はどうしたらいいか／
- 補助金関連 →市補助金の申請相談／各種助成制度の情報収集
- 広報 →市広報媒体への掲載依頼等
- 一般 →情報交換
- しみんのひろば →イベント出展等の相談

7 市民活動支援センター運営課題等

- 市民活動推進スタッフ(嘱託員)の減員 1人⇒0人
- 市組織の機構改革に伴う職員数の減少

◆田原市民活動支援センターの運営見直し（平成 28 年 7 月以降の体制）

1 見直しの経緯

○これまで、センター開設日である火曜日・金曜日(祝日の場合を除く)は、企画課協働係の職員が文化会館での相談業務に従事できず、スポーツ課施設管理係の支援を得て印刷機利用者への対応を行うとともに、訪問者があった場合、状況に応じて田原文化会館に出向いた。

土曜日、祝日は 2 名の市職員が交替で従事しているが、7 月以降は他のイベント業務と重なることが多く、毎週土曜日の従事は困難な状況が見込まれたため、田原市民活動支援センターを利用する方の利便性を損なわないよう、早期に体制を確立し周知を行うことが必要であると判断し、運営体制について見直しを行った。

2 暫定措置（平成 28 年度）（案）

(1) 設置場所及び設備

設置場所	設備
田原文化会館フリースペース内(約15m ²)	カウンターテーブル、掲示板、閲覧用パソコン、プリンター(A3)、電話(内線)、メールアドレス、印刷機 ※ロッカー、掲示版等は文化会館管理
市役所企画課窓口	

(2) 運営体制

- 市直営:企画課 協働係職員 1名

- 開設日時等(平成 28 年 7 月～平成 29 年 3 月)

	場所	日時等
補助金・活動等相談業務	市役所企画課窓口	月～金／市役所業務時間内
	田原文化会館 フリースペース	土曜日(原則:第1・3・5) ／午後1時から午後6時
活動支援(印刷機利用等)	田原文化会館 フリースペース	文化会館開館日 ／午前9時～午後5時

(参考)印刷機の利用実績(H27)

登録団体数	利用団体数	利用回数	利用枚数合計(年間)	
28団体	7団体	41回	最高枚数	29,209 枚
			最低枚数	1,000 枚

❖印刷機の利用は、利用団体に印刷機のオペレーターカードを貸与する方法に変更をし、貸与時に納付書により使用料300円の納付を依頼する(年度ごとに更新を行い管理)。従来、施錠されている印刷室にあった印刷機を市民活動支援センター内に移動して、利用団体が使用しやすい環境を整えた。

※オペレーターカードの使用上限枚数は、5,000 枚と設定。

【平成 29 年度以降の運営体制】

予算要求前までに、案 1 による受託団体の模索をする。センター管理組織のように団体メンバー同士で日替わりでの管理なども視野に入れる。

【案1】運営団体を募集し、委託する。開設日は、週2日の午後1時から午後6時。

【案2】市民活動団体へ開放する。開設日の設定はなし、文化会館開館時間。

※センター設備を利用できる。市民活動団体登録制度を導入し、登録団体のみが利用可。